

第107期 事業報告書

平成17年2月1日から平成18年1月31日まで



株式会社 東京楽天地

証券コード：8842

株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととおよろこび申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第107期（平成17年2月1日から平成18年1月31日まで）の事業の概況をとりまとめましたので、ここにご報告申し上げます。

平成18年4月

取締役社長 竹下 直志

営業の概況

■営業の状況

当期におけるわが国経済は、企業収益の改善や民間設備投資の増加がみられ、個人消費、雇用情勢にも好影響を与えましたので、景気は緩やかな回復基調を維持いたしました。

このような状況下にありましたが、当社の売上高は、各部門とも前期におよばず、62億3千3百万円（前期比2.5%減）、経常利益は22億1千3百万円（前期比2.8%減）、当期純利益は13億4千万円（前期比1.0%減）となりました。

以下、部門別の営業の状況をご報告申し上げます。

映画興行部門

映画興行界は、引き続きシネマコンプレックスが各地に新設されましたので、スクリーン数は2,900を超えましたが、観客数、興行収入ともに前年を下回りました。

その中において当社は、邦画では「ALWAYS 三丁目の夕日」「交渉人 真下正義」、洋画では「スター・ウォーズ」「ハリー・ポッター」の両シリーズ作品、「宇宙戦争」「チャーリーとチョコレート工場」が健闘いたしました。また、前期大ヒットいたしました「ハウルの動く城」に匹敵する作品がなく、映画興行収入は12億7千2百万円（前期比10.1%減）となりました。

なお、昭和39年開場の浅草東宝劇場は、本年1月末日をもちまして、劇場設備の老朽化により閉館いたしました。



1階切符売場

賃貸部門

不動産業界は、賃貸ビルの空室率が改善傾向にありますものの、厳しい状況

が続いております。このような環境のもと、当社は計画的な設備改善に努めました結果、主力の楽天地ビルは堅調に稼働いたしました。日本中央競馬会に賃貸しております楽天地ダービービル西館について、賃料値下げの要請を一部受け入れたこともあり、賃貸収入は45億1千1百万円（前期比0.4%減）となりました。



楽天地ダービービル西館
エクセルフロア

事業部門



トラットリア トムトム

ボウリング業界は、参加人口が減少し、引き続き厳しい状況にあります。その中において、楽天地浅草ボウルでは、団体顧客獲得のための宣伝活動の実施および小・中学生ボウラーの育成を目的として設立いたしましたクラブキッズ、サークルジュニアの活動を積極的に進めましたが、前期を若干下回りました。飲食事業は、イタリアンレストラン「トラットリア トムトム」が通期順調に稼働いたしました。事業収入は4億4千9百万円(前期比0.2%減)となりました。

第107期の利益配当金につきましては、創立70周年を記念し、前期より2円増配となる1株につき5円とさせていただきます、中間配当金とあわせて1株あたり年間8円の配当を実施いたしました。

■設備投資および資金調達状況

当期の設備投資の主なものは、「TOHOシネマズ錦糸町」ならびに「楽天地天然温泉 法典の湯」の建設費用で、その他を加えました投資総額は11億8千1百万円となりましたが、これらは自己資金をもって充ちいたしました。

■今後の見通しについて

今後のわが国経済は、企業業績、個人消費等の改善が今後も続くと思われ、回復の足取りは緩やかで景気の先行きは楽観できず、当社をとりまく経営環境は厳しい状況が続くものと思われ。このような状況のもと当社は、新規事業として、昨年11月に「楽天地天然温泉 法典の湯」をJR船橋法典駅隣接地にオープンいたし、お客様からご好評をいただいております。また、本年4月20日には8スクリーンを擁するシネコン「TOHOシネマズ錦糸町」をJR錦糸町駅北口の「olinas（オリナス）モール」にオープンいたしました。

今後も本来の堅実性を損なうことなく、さらに積極的な事業展開をはかり、業績の向上に努めてまいります。

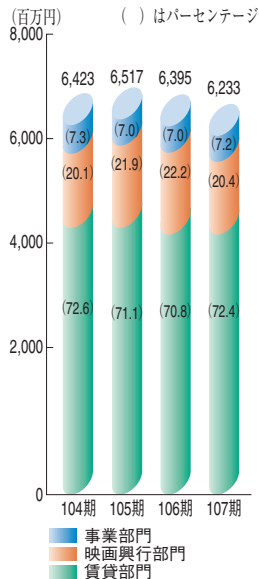
株主の皆さまにおかれましても、今後一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

■過去3年間の営業成績および財産の状況の推移

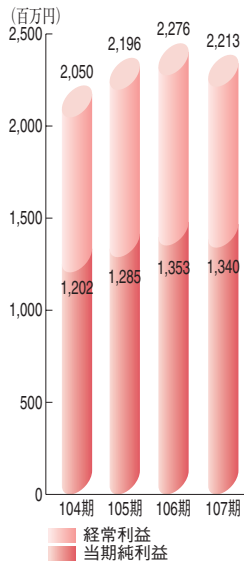
区 分	第104期 (平成15年1月期)	第105期 (平成16年1月期)	第106期 (平成17年1月期)	第107期(当期) (平成18年1月期)
売 上 高 (千円)	6,423,272	6,517,936	6,395,181	6,233,737
経 常 利 益 (千円)	2,050,538	2,196,044	2,276,869	2,213,829
当 期 純 利 益 (千円)	1,202,589	1,285,565	1,353,875	1,340,307
1株当たり当期純利益 (円)	18.48	19.32	20.73	20.73
総 資 産 (千円)	37,628,966	32,723,775	32,505,515	34,044,782
純 資 産 (千円)	18,412,297	19,134,152	20,058,182	21,866,159
1株当たり純資産 (円)	283.21	298.90	315.35	344.08

- 第105期は、映画興行部門が好成績をあげましたので、経常利益、当期純利益ともに過去最高の成績となりました。
- 第106期は、転換社債償還により支払利息が減少いたしましたので、経常利益、当期純利益ともに過去最高の成績となりました。
- 第107期(当期)は、各部門とも前期におよばず、減収減益となりました。

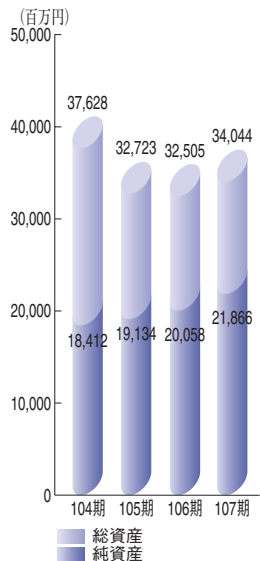
●部門別売上高(比率)



●経常利益および当期純利益



●総資産および純資産



個別貸借対照表

(単位 千円)

期別 科目	前 期 (平成17年1月31日現在)	当 期 (平成18年1月31日現在)	期別 科目	前 期 (平成17年1月31日現在)	当 期 (平成18年1月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	5,658,004	3,012,918	流動負債	2,619,392	2,485,551
現金及び預金	1,379,733	1,106,846	短期受入保証金	850,311	730,971
有価証券	3,865,657	1,558,997	その他	1,769,081	1,754,580
その他	412,612	347,073	固定負債	9,827,940	9,693,071
固定資産	26,847,510	31,031,863	退職給付引当金	407,580	406,708
有形固定資産	22,042,604	22,176,547	受入保証金	9,232,249	8,531,525
建物	19,556,388	19,129,510	その他	188,111	754,837
土地	2,123,594	2,123,594	負債合計	12,447,332	12,178,622
その他	362,621	923,443	(資本の部)		
無形固定資産	210,002	219,324	資本金	3,046,035	3,046,035
投資その他の資産	4,594,903	8,635,991	資本剰余金	3,378,537	3,378,537
投資有価証券	1,968,206	4,053,235	資本準備金	3,378,537	3,378,537
関係会社株式	1,731,015	3,627,371	利益剰余金	13,798,974	14,725,696
その他	895,682	955,384	利益準備金	691,445	691,445
資産合計	32,505,515	34,044,782	任意積立金	10,850,000	11,850,000
			当期末処分利益	2,257,528	2,184,250
			その他有価証券評価差額金	472,012	1,364,907
			自己株式	△ 637,376	△ 649,016
			資本合計	20,058,182	21,866,159
			負債資本合計	32,505,515	34,044,782

□ 掲載した財務諸表は、主要な項目を表示しております。また、すべて千円未満を切り捨てて表示しております。

当社のホームページ上でも、事業報告書、有価証券報告書等IR情報をご覧ください。 <http://www.rakutenchi.co.jp>

個別損益計算書

(単位 千円)

科 目	期 別	前 期 (平成16年2月1日から 平成17年1月31日まで)	当 期 (平成17年2月1日から 平成18年1月31日まで)
	売 上 高		6,395,181
売 上 原 価		3,514,344	3,451,867
一 般 管 理 費		721,702	724,595
営 業 利 益		2,159,133	2,057,275
営 業 外 収 益		186,934	214,931
営 業 外 費 用		69,199	58,376
経 常 利 益		2,276,869	2,213,829
特 別 損 失		-	35,191
税引前当期純利益		2,276,869	2,178,638
法人税、住民税及び事業税		919,000	821,000
法人税等調整額		3,994	17,331
当 期 純 利 益		1,353,875	1,340,307
前 期 繰 越 利 益		1,095,312	1,034,418
中 間 配 当 額		191,658	190,475
当 期 未 処 分 利 益		2,257,528	2,184,250

利益処分計算書

(単位 千円)

区 分	前 期	当 期
当 期 未 処 分 利 益	2,257,528	2,184,250
利 益 配 当 金	190,510	317,395
役 員 賞 与 金	32,600	24,000
(うち 監 査 役 分)	(3,000)	(3,700)
任 意 積 立 金	1,000,000	800,000
別 途 積 立 金	1,000,000	800,000
次 期 繰 越 利 益	1,034,418	1,042,855

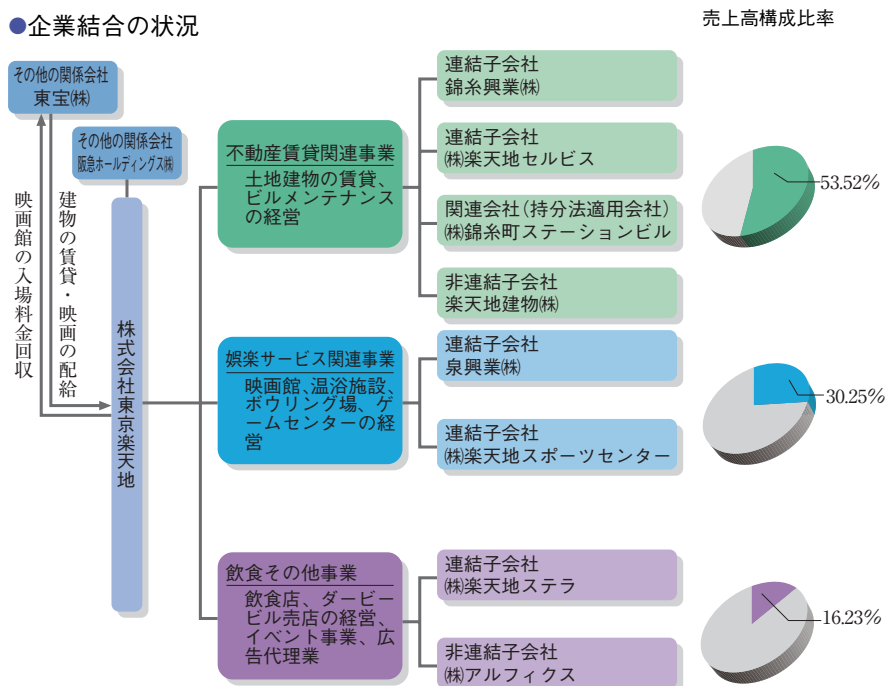
□ 平成17年10月14日に190,475千円（1株につき3円）の中間配当を実施いたしました。

連結・セグメント情報

過去3年間の連結営業成績および財産の状況の推移

区 分	平成15年1月期	平成16年1月期	平成17年1月期	平成18年1月期 (当 期)
売 上 高 (千円)	10,561,178	10,941,381	10,764,654	10,826,386
経 常 利 益 (千円)	2,402,050	2,516,357	2,534,346	2,496,511
当 期 純 利 益 (千円)	1,459,132	1,453,162	1,487,959	1,494,341
1株当たり当期純利益 (円)	22.42	21.84	22.77	23.08
総 資 産 (千円)	39,313,344	34,837,322	34,699,258	36,485,660
純 資 産 (千円)	20,332,998	21,221,696	22,276,216	24,256,203
1株当たり純資産 (円)	312.76	331.50	350.21	381.66

●企業結合の状況



- (株)東京楽天地は「不動産賃貸関連事業」「娯楽サービス関連事業」「飲食その他事業」のすべての事業を行っております。
- 非連結子会社には持分法を適用していません。
- 阪急ホールディングス(株)は平成17年4月1日付で阪急電鉄(株)より商号変更しております。

連結貸借対照表

(単位 千円)

期別 科目	前連結会計年度 (平成17年1月31日現在)	当連結会計年度 (平成18年1月31日現在)	期別 科目	前連結会計年度 (平成17年1月31日現在)	当連結会計年度 (平成18年1月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	6,107,789	3,492,311	流動負債	2,463,943	2,400,786
現金及び預金	1,606,411	1,318,195	未払法人税等	539,795	538,486
有価証券	3,865,657	1,558,997	その他	1,924,147	1,862,299
その他	635,719	615,118	固定負債	9,959,098	9,828,670
固定資産	28,591,469	32,993,348	退職給付引当金	507,895	505,805
有形固定資産	22,942,284	23,170,452	受入保証金	9,243,692	8,541,954
建物及び構築物	20,225,712	19,845,977	その他	207,511	780,911
土地	2,255,449	2,278,781	負債合計	12,423,041	12,229,457
その他	461,121	1,045,694	(資本の部)		
無形固定資産	239,054	235,172	資本金	3,046,035	3,046,035
投資その他の資産	5,410,130	9,587,723	資本剰余金	3,378,537	3,378,537
投資有価証券	4,202,942	8,324,611	利益剰余金	16,011,444	17,088,025
その他	1,207,187	1,263,112	その他有価証券評価差額金	477,576	1,392,621
資産合計	34,699,258	36,485,660	自己株式	△ 637,376	△ 649,016
			資本合計	22,276,216	24,256,203
			負債資本合計	34,699,258	36,485,660

□ 掲載した連結財務諸表は、主要な項目を表示しております。また、すべて千円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位 千円)

期 別 科 目	前連結会計年度 (平成16年2月1日から 平成17年1月31日まで)	当連結会計年度 (平成17年2月1日から 平成18年1月31日まで)
売 上 高	10,764,654	10,826,386
売 上 原 価	7,322,668	7,449,540
売 上 総 利 益	3,441,986	3,376,846
一 般 管 理 費	1,005,012	1,011,369
営 業 利 益	2,436,973	2,365,477
営 業 外 収 益	181,446	212,750
営 業 外 費 用	84,073	81,716
経 常 利 益	2,534,346	2,496,511
特 別 損 失	29,553	34,556
税金等調整前当期純利益	2,504,792	2,461,955
法人税、住民税及び事業税	1,043,100	943,400
法人税等調整額	△ 26,267	24,213
当 期 純 利 益	1,487,959	1,494,341

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 千円)

期 別 科 目	前連結会計年度 (平成16年2月1日から 平成17年1月31日まで)	当連結会計年度 (平成17年2月1日から 平成18年1月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,136,434	2,572,264
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,574,646	△ 3,569,439
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 546,834	△ 395,188
現金及び現金同等物の増減(△)額	△ 985,046	△ 1,392,364
現金及び現金同等物の期首残高	4,708,507	3,723,460
現金及び現金同等物の期末残高	3,723,460	2,331,096

株式の概況 (平成18年1月31日現在)

会社が発行する株式の総数	219,223,000株
発行済株式の総数	65,112,187株
1単元の株式数	1,000株
当期末株主数	8,090名 (前期末比158名減)
大株主	

株 主 名	持株数 (千株)	議決権比率 (%)
阪急ホールディングス株式会社	11,592	18.49
東宝株式会社	10,785	17.21
株式会社文藝春秋	5,920	9.44
富士火災海上保険株式会社	3,005	4.79
東宝不動産株式会社	1,680	2.68
モルガンスタンレーアンドカンパニーインターナショナルリミテッド	818	1.30
三和興行株式会社	716	1.14
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	652	1.04
建石産業株式会社	585	0.93
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	515	0.82

□ 当社は自己株式1,636千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。なお、当該株式数は株主名簿記載上の数であり、実質的な保有株式数は1,633千株であります。

会社の概況 (平成18年1月31日現在)

創 立	昭和12年2月27日
資 本	3,046,035,370円
従 業 員 数	67名 (出向者11名、契約者1名を含んでおります)
主 な 事 業 内 容	映画興行、土地建物の賃貸
主 な 営 業 所	映 画 館 錦糸町シネマ8楽天地1～8 (客席数1,469) 浅草東宝劇場 (平成18年1月31日をもちまして閉館いたしました)
主 な 賃 貸 ビ ル	ボウリング場 楽天地浅草ボウル (レーン数42) 楽天地ビル (百貨店、銀行、飲食店、男女サウナ) 楽天地ダービービル東館 (場外馬券発売所) 楽天地ダービービル西館 (場外馬券発売所) 第一錦糸ビル (飲食店) 浅草東宝会館 (遊技場)

役 員 (平成18年4月27日現在)

代表取締役社長	竹 下 直 志	取 締 役	森 瀬 幸 雄
代表取締役専務	伊 藤 省 吾	取 締 役	中 老 澤 川 一 紀
専務取締役	滝 澤 信 男	常 勤 監 査 役	秋 元 雅 治
専務取締役	大 柴 忠 邦	常 勤 監 査 役	大 橋 太 朗
取 締 役	松 岡 功	監 査 役	浦 井 敏 之
取 締 役	高 井 英 幸	監 査 役	

楽天地グループトピックス

スーパー銭湯事業へ進出（泉興業）

かねてより建設中だった「楽天地天然温泉 法典の湯」が、平成17年11月21日にオープンいたしました。地下1,500mから湧き出る温泉の効能は、疲労回復・血行促進・冷え性の改善・美肌効果となっております。当館では、様々な施設を併設しており、当初の予想を上回るお客様にご来場いただき、ご好評をいただいております。



併設施設

まんぶく庵 こだわりの十割そばをはじめ、定食から軽食、ビール、ソフトクリームまで幅広いメニューを取り揃えております。

げんき処 ボディケア、頭・顔つぼ、足つぼマッサージ、韓国アカスリといった癒しのメニューがございます。

髪すき処 カット、シャンプーだけでなく、頭皮マッサージ、ブロー、白髪ほかしカラーもご用意しております。

場所：JR船橋法典駅徒歩 5 分

Tel 047-338-4126

TOHO シネマズ 錦糸町 開業

平成18年4月20日、JR錦糸町駅北口の精工舎跡地に完成した「olinas（オリナス）モール」内に、8スクリーンを擁するシネコン「TOHOシネマズ錦糸町」をオープンいたしました。

当劇場は、最新の音響映像設備を備えるとともに、かつて錦糸町で陽光を受けて輝いていたお堀の水面、川や水、草木といった自然をイメージし、現在の錦糸町とは違う古き良き時代を知るお客様にもご満足いただける空間をご提供しております。

施設概要

1,473席（各スクリーン、ハンディキャップシート2席ずつを含む）

スクリーン1 174席、スクリーン2 452席

スクリーン3 161席、スクリーン4 225席

スクリーン5 116席、スクリーン6 116席

スクリーン7 114席、スクリーン8 115席

「TOHOシネマズ錦糸町」オープンに伴い、楽天地ビルの「錦糸町シネマ8楽天地」は、5月7日をもちましてシネマ5～8を閉館し、4スクリーンで営業いたします。また、名称を「楽天地シネマズ錦糸町」と改めます。



場所：地下鉄半蔵門線錦糸町駅徒歩 3 分

Tel 03-5637-1040

株 主 メ モ

決算期	1月31日
定時株主総会	4月中に開催
配当金受領株主確定日	利益配当金 1月31日 中間配当金 7月31日
基準日	定時株主総会 1月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (同連絡先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
同 取 次 所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 本店および全国各支店 株式会社関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。 電話 (通話料無料) 0120-244-479 (本店証券代行部) 0120-684-479 (大阪証券代行部) インターネットホームページ http://www.tr.mufj.jp/daikou/
単元未満株式の 買取請求取扱場所 公告掲載新聞	上記名義書換代理人の事務取扱場所および取次所 日本経済新聞 なお、日本経済新聞による決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書を下記の当社ホームページに掲載しております。

ご 招 待 券 発 行 基 準

発行基準持株数	A券 (東宝系劇場共通)		B券 (当社直営劇場通用)	
770株以上			隔月に	1枚
1,500株以上	隔月に	1枚	同	1枚
3,000株以上	毎月	1枚	毎月	2枚
7,500株以上	同	2枚	同	3枚
15,000株以上	同	4枚	同	4枚
30,000株以上	同	6枚	同	6枚
150,000株以上	同	12枚	同	10枚
300,000株以上	同	20枚	同	12枚

1月末日現在株主へ……5月から10月までの6カ月分をとりまとめて4月下旬に発送

7月末日現在株主へ……11月から翌年4月までの6カ月分をとりまとめて10月中旬に発送

なお、平成18年7月末日現在の株主様より、ご招待券発行基準を変更させていただきます。詳しくは別紙「株主優待制度の変更に関するお知らせ」をご覧ください。

株式会社 東京楽天地

〒130-8535 東京都墨田区江東橋4-27-14 TEL.03-3631-3122 (総務課)

<http://www.rakutenchi.co.jp>